

製品名: TRP1 (8L13) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe19308**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.48mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:500-1:2000,ICC/IF 1:500-1:1000,FC 1:50-1:100
分子量	61kDa

抗原情報

遺伝子名	TYRP1
別名	CAS2; CATB; GP75; OCA3; TRP1;TYRP; TYRP1; TYRRP;
遺伝子 ID	7306.0
SwissProt ID	P17643
免疫原	ヒト TRP1 の組み換えタンパク質

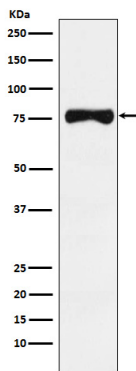
背景

5,6-ジヒドロキシインドール-2-カルボン酸 (DHICA) のインドール-5,6-キノン-2-カルボン酸への酸化。合成されるメラニンの種類を制御または影響を与える可能性がある。メラニン生成において役割を果たす (PubMed:22556244, PubMed:16704458)。結合 Cu(2+)イオン存在下では 5,6-ジヒドロキシインドール-2-カルボン酸 (DHICA) のインドール-5,6-キノン-2-カルボン酸への酸化を触媒するが、Zn(2+)イオン存在下では触媒しない (PubMed:28661582)。合成されるメラニンの種類を制御または影響を与える可能性がある (PubMed:22556244, PubMed:16704458)。また、程度は低いですが、チロシンを水酸化してメラニンを生成することもできる (類似性による)。

研究分野

-

画像データ



ヒト黒色腫溶解物中の TRP1 発現のウェスタン プロット分析。